

## 母べえ (2007)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 132分  
初公開日 2008/01/26  
公開情報 松竹

## 【キャッチコピー】

何もなくても、母の手があった。  
悲しくても、母の胸があった。

## 【解説】

黒澤明作品のスクリプターとして知られる野上照代の自伝的小説『父へのレクイエム』（改題『母べえ』）を、「男はつらいよ」「武士の一分」の山田洋次監督が吉永小百合を主演に迎えて映画化した感動の反戦ヒューマン・ドラマ。ある日突然夫が治安維持法で投獄されてしまうという苦境の中で、夫を信じ続け、つつましくも気高き信念を失わず、残された2人の娘を守るため懸命に生きた一人の女性の姿を描く。

昭和15年の東京。野上佳代は、愛する夫・滋と2人の娘、長女の初子と次女の照美と共に、つましいながらも幸せな毎日を送っていた。互いに“父（とう）べえ”“母（かあ）べえ”“初べえ”“照べえ”と呼び合い、笑いの絶えない野上家だったが、ある日、突然の悲劇が一家を襲う。文学者である滋が、反戦を唱えたことを理由に特高刑事に逮捕されてしまったのだ。穏やかだった生活は一変し、不安と悲しみを募らせる母と娘たち。そんな中、滋のかつての教え子・山崎や滋の妹・久子、放埒で型破りな叔父・仙吉らが一家のもとに駆けつけ、佳代と娘たちを優しく親身に支えていく。

## 【クレジット】

|         |                      |                         |
|---------|----------------------|-------------------------|
| 監督      | 山田洋次                 |                         |
| プロデューサー | 深澤宏<br>矢島孝           |                         |
| 原作      | 野上照代                 | 『母べえ』（オリジナル題『父へのレクイエム』） |
| 脚本      | 山田洋次<br>平松恵美子        |                         |
| 撮影      | 長沼六男                 |                         |
| 美術      | 出川三男                 |                         |
| 編集      | 石井巖                  |                         |
| 音楽      | 富田勲                  |                         |
| ソプラノ    | 佐藤しのぶ                |                         |
| 照明      | 中須岳士                 |                         |
| 録音      | 岸田和美                 |                         |
| 出演      | 吉永小百合<br>浅野忠信<br>檀れい | 野上佳代<br>山崎徹<br>野上久子     |

志田未来  
佐藤未来  
中村梅之助  
笹野高史  
でんでん  
神戸浩  
近藤公園  
茅島成美  
松田洋治  
赤塚真人  
吹越満  
左時枝  
小林稔侍  
鈴木瑞穂  
倍賞千恵子  
戸田恵子  
大滝秀治  
笑福亭鶴瓶  
坂東三津五郎

野上初子  
野上照美  
藤岡久太郎

野上照美（大人）  
野村医師  
藤岡仙吉  
野上滋